

「偽善」

ごきげんよう、
高橋です。

あなたは、「偽善」という言葉を、
どう思いますか？

「偽善」って、一般的には
ネガティブなイメージの言葉ですよ。

何か善い行いをした人に対して、
「アイツは、本当は腹黒いのに、あんなことをして偽善者だ」
という批判を聞くことがあります。

ここ数日、あなたと一緒に、
アウトプットについて考えてきたので、
今日は、もうちょっと掘り下げて考えていきたいと思います。

次の2つのタイプの人がいるとします。

- A、心の中は悪人なのに、善い行いをする人
- B、心の中はきれいだけど、何もしない人

一般的に「A」の人が、
「偽善者」と呼ばれるのだと思います。

しかし、実際に、世の中に影響を与えるのは、
現実的に、誰かを助ける人ができるのは、
「A」ではないでしょうか。

その人の心の中が本当は悪か善かなんて、
誰にもわかりません。

しかし、結局、
現実を変えるのは「アウトプット」です。

どんなに、

「俺は本当に心がきれいなんだ！
毎日、世界平和を願っているんだ」
という人だったとしても、

家に引きこもり、誰ともコンタクトをとらず、
世の中に、何もアウトプットをしなければ、
誰一人のことも幸せにすることはできません。

ならば、偽善だろうが、本物であろうが、
「善いものをアウトプット」している人のほうが、
誰かを幸せにできます。

心の中なんて、わかりません。
アウトプットすることでしか、価値は生まれないわけです。

「心の底では、本当は愛しているんだ」と言っても、
毎日、パートナーに対して、
愛していると思えないような態度ばかりをとっていたら、
相手は「愛されていない」と感じてしまいますよね。

「本当は、こうしたかった」
「心の中では、こう思っていた」

しかし、思っているだけでは、現実は変わりません。

つまり

あなたが、
「何を持っているか？」ではなく、

あなたが、
「何をアウトプットしたか？」で、
人生が創られていきます。

あなたは、
多くの価値あるものを持っているはずです。

次回のメールでは、
「東日本大震災の被災者の命を救ったもの」の
実例をご紹介します。

アウトプットの重要性について、
あなたと一緒に、さらに考えてみたいと思います。

高橋久美子

※メールの感想をお待ちしています。

[info@unsoukeiei.com]